

平成25年12月14日（土）全国大会1日目

【オープニングアクト】

福島市の児童クラブ「清明っ子」の子どもたちによる
「YOSAKOIソーラン」



【記念講演】

「子ども・子育てのためのコミュニティデザイン」

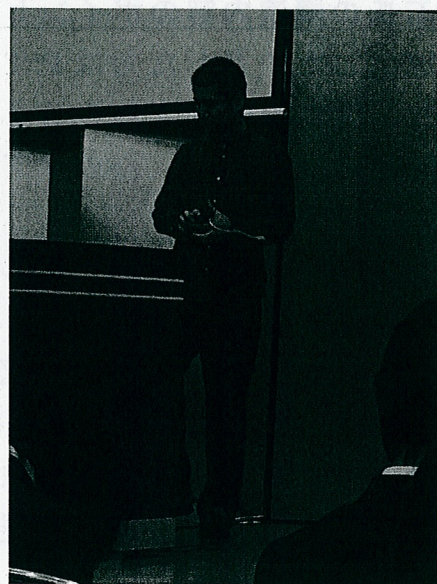
講師：コミュニティデザイナー 山崎 亮

- ・山崎氏の講演は、自身の職業の経験及びコミュニティデザインの観点で、児童館・児童クラブを考えるものであり、非常に興味深い内容であった。山崎氏はTBSの「情熱大陸」など多数のメディアにも出演しており、全国大会参加者全員に対しての講演であったが、ユーモアのある語り口で、会場全体が山崎氏の講演に聞き入っていた。
- ・児童館厚生員・放課後児童クラブ指導員は遊びを提供するキャストを担い、地域に活力を与える存在であることが重要であり、きめ細かい調整、先を見通した計画、積極的に地域と連携することが必要であると感じた。

※講演内容のポイント

- ・コミュニティデザインとは、地域に入り、そこに住む人たちと一緒に地域の課題を解決し、まちづくりなどを行ったり、人（地域）とのつながりをデザインすること。
- ・コミュニティデザイナーは、事業者と住民との調整役となり、様々な課題や問題を解決し、よりよい事業となるよう事業者と住民との架け橋の役割を担う。

- ・子どもたちが興味を示すような「遊び」「物」を大人はたくさんもっている（知っている）が、大人は子どもたちに伝える手段・機会が少ない。これを調整することでコミュニティの輪が広がる。
- ・広告は手にとってもらえなければ意味を成さず、重要な事項は広告紙の上3分の1に記載し、わかりやすい内容であることが大切。
身近にある広告を参考にする。例えば、美術館においてあるような広告は、専門家が作成しているので、体裁や表現方法やフォントなど参考になる事が多い。
- ・広告に限らず、水に関わることは水色、自然や森林関係は緑色など、「テーマカラー」を使用することで、内容が伝わりやすいものとなる。



【特別報告】

「東北3県から未来へ」

- ・岩手県、宮城県、福島県の児童館・児童クラブから、被災後、復興に向けての歩み、全国へのメッセージ。
- ・被災後の子どもたちの変化や、復興に向けての取り組みが語られた。映像を交えた語りや、涙が流れ会場が静まり返るような面もあり、大変感慨深いメッセージであった。